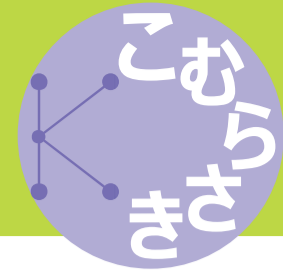


こむらさき雅史と創る いこまのみらい



1 関西一健康で安心して暮らせるまち「いこま」

- 生駒市立病院を核にした医療・福祉・介護・生きがいづくりの実現
- 介護人材の確保に向けた資格取得など具体的支援
- 寿大学の定員を50人増加
- 生きいきカードの支給継続と制度の見直し
- 地域のサロンや老人クラブへのより細やかな支援
- 公共施設のトイレの洋式化
- 生駒山麓公園等での障がい者の就労機会の拡大
- ICT技術を活用した療育・学習支援と、専門家の採用
- 土砂災害に対する備えの徹底

2 関西一の子育て・教育のまち「いこま」

- 子ども医療費助成を中学校まで拡大
- 待機児童を平成30年度中にゼロにする
- 市立病院などでの病児保育の拡充
- 教育委員の公募
- 小学校1年生からの英語教育
- 全小学校のトイレの洋式化
- 県の動きと連動した速やかなエアコン設置の検討
- ビブリオバトル全国大会実施と、中学校大会による教育への活用
- ブラスバンドや市民音楽祭など、音楽のまち「いこま」の発展

3 関西一の環境住宅都市「いこま」

- ニュータウンの高齢化、空き家問題への全力対応
- 地域のエネルギーを活用した災害に強いまちづくり
- 家庭ごみの有料化の円滑な実施運営
- 歩行者安全対策（ゾーン30、歩道整備）
- 辻町ICの奈良方面出入口の整備に向けた取組
- 高山第2工区の今後の在り方について速やかに検討を再開

4 関西一「地元」が楽しいまち「いこま」

- イコマニア100（生駒に100のイベントを創る）
- 市民が創る市民に役立つアプリの開発支援など、IT技術やオープンデータの活用
- 地域に根差した農業の活性化
- 起業支援スペース・コミュニティスペースの開設
- 商店街などの小売店舗活性化と後継者育成
- 市内事業者の活性化

- まちづくりワークショップの創設
- イベントづくりなどへの市民提案・支援制度の開始

- 日本一の採用・育成による職員800人の少数精鋭集団
- 女性管理職員を平成30年度当初に30%とする

市民とともに汗をかき、具体的な成果に

つなげる、本気の「協創」の実現。

こむらさき雅史と創る いこまのみらい

山下市政の
継承と発展